

子どもの幸せのために

～虐待・いのちを考える～



11月は
児童虐待防止
推進月間
です

子どもの虐待防止推進全国フォーラム

inしが

平成20年11月2日^① / 3日^②

参加のご案内

子どもの幸せのために～虐待・いのちを考える～

1 趣 旨

児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加しており、特に子どもの生命が奪われるなど重大な事件も跡を絶たない状況において、児童虐待問題は社会全体で早急に解決すべき重要な課題となっています。虐待の発生予防、早期発見・早期対応から虐待を受けた子どもの自立に至るまで、切れ目のない総合的な支援が必要とされています。

こうした状況を踏まえ、平成 16 年度から、児童虐待防止法が施行された 11 月を「児童虐待防止推進月間」と位置づけ、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図るため、その期間中、集中的な広報・啓発活動を実施することとしています。

この児童虐待防止推進月間の取組の一環として、国民一人ひとりが児童虐待問題についての理解をより一層深め、主体的に関わりをもっていただくための意識啓発を図るとともに、民間団体、地方自治体、国などの関係者が連携を強化し、効果的な取組を進めていくための情報交換・情報共有等を図ることを目的として、標記全国フォーラムを滋賀県大津市で開催します。

2 主 催

厚生労働省

5 メイン会場

「滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール」
滋賀県大津市打出浜 15-1

3 協 力

滋賀県、大津市、
滋賀県要保護児童対策連絡協議会

6 参 加 者 (定員)

800 名程度
【手話通訳有 (基調講演・シンポジウム)】

4 開催日時 (2日間)

平成 20 年
11月2日 (日) 13:00 ~ 16:45
3日 (月祝) 9:45 ~ 13:00

7 参 加 費

無料
※ 交流会に参加をご希望の方には、別途実費
をご負担いただきます

8 プログラム

1 日目 11月2日 (日)

12:00 開 場

12:15 ~ プレイベント
子どもたちによる和太鼓演奏 (和太鼓サークル「トントコ」)

13:00 ~ 13:30 開会セレモニー
・開会挨拶
・平成 20 年度児童虐待防止推進月間標語最優秀賞 (厚生労働大臣賞) の授与
・平成 20 年度要保護児童対策模範事業 (児童相談所及び市町村関係機関) の表彰

13:30 ~ 14:15 基調講演
滋賀県知事 嘉田 由紀子氏

14:30 ~ 16:45 シンポジウム
「子どもの幸せのために ~虐待・いのちを考える~」
■コーディネーター
野田 正人氏 (立命館大学産業社会学部教授)
■パネリスト
西澤 哲氏 (山梨県立大学人間福祉学部教授)
坂本 和子氏 (特定非営利活動法人里親子支援のアン基金プロジェクト副理事長・東京都元養育家庭里親)
峯本 耕治氏 (長野総合法律事務所・弁護士 (大阪弁護士会))

17:30 ~ 19:00 交流会

子どもの虐待防止推進全国フォーラム in しが

2日目

11月8日(木) 10:00~

9:45~11:45

分科会 (4分科会構成)

第1分科会 「子ども虐待防止に向けた民間団体と自治体との協働について」

概要 NPO等民間団体と自治体が虐待を未然に防止する取組をどう進めていくべきかなどについて議論する。

■コーディネーター

原田 正文氏 (大阪人間科学大学大学院教授・研究科長、特定非営利活動法人こころの子育てインターねっと関西代表)

■事例報告者

坂本 正子氏 (甲子園大学現代経営学部教授)
奥山千鶴子氏 (特定非営利活動法人びーのびーの理事長)
松原 洋介氏 (大津市子ども支援センター「風の子保育園」保育士)

第2分科会 「周産期からの保健、医療、福祉の連携について」

概要 虐待予防に向けた、保健、医療、福祉の有機的な連携のあり方などについて議論する。

■コーディネーター

佐藤 拓代氏 (大阪府東大阪市保健所長)

■事例報告者

天野 義仁氏 (大阪府泉大津市健康福祉部児童福祉課長)
石井 智鶴氏 (兵庫県尼崎市保健所健康増進課係長)
廣田 常夫氏 (大津赤十字病院小児科第一部長)

第3分科会 「市町村の要保護児童対策地域協議会と児童相談所、学校等関係機関との連携について」

概要 地域協議会の機能強化や市町村、児童相談所、学校との連携のあり方などについて議論する。

■コーディネーター

安部 計彦氏 (西南学院大学人間科学部准教授)

■事例報告者

加藤 芳明氏 (神奈川県中央児童相談所長)
塩谷 幸代氏 (兵庫県加古川市福祉部こども支援局こども課係長)
佐々木千里氏 (スクールソーシャルワーカー、社会福祉士)

第4分科会 「子どもの権利擁護とこれからの社会的養護のあり方について」

概要 自立の支援に向けた子どもの権利擁護や今後の社会的養護のあり方などについて議論する。

■コーディネーター

才村 純氏 (関西学院大学人間福祉学部教授)

■事例報告者

庄司 順一氏 (青山学院大学文学部教授)
石川 希氏 (東洋大学社会学部・大学生)
大久保和久氏 (児童養護施設湘南学園施設長)

12:15~12:55

全体会

各分科会ごとに内容を報告していただき、全体のまとめを行います。

※ 会場で民間団体等の児童虐待防止に向けた取組をパネル等で展示します

FAX送信先 滋賀県健康福祉部子ども・青少年局

077-528-4854

(「子どもの虐待防止推進全国フォーラム inしが」事務局)

申し込み締切

平成20年

10/14(火)

子どもの虐待防止推進全国フォーラム inしが

参加申込書

※お申し込みは、個人ごとをお願いします。

フリガナ ① 参加希望者 お名前	性別 男性 ・ 女性
② ご所属(○をつけてください) ()一般 ()行政(都道府県・市町村) ()民間団体 ()関係機関 ()その他 ご所属先名〔 〕	
③ 参加希望者の連絡先(参加証の送付先) ご住所〒 電話: () FAX: ()	
④ 参加希望日(○をつけてください) ()11月2日(日) ……基調講演・シンポジウム等 ()11月3日(月・祝) ……分科会・全体会等	
⑤ 参加希望分科会(ご希望の分科会の番号をご記入ください) 第1希望(第 分科会) 第2希望(第 分科会) 第3希望(第 分科会)	
⑥ ご利用「有」の方は、「○」をつけてください。 磁気誘導ループ席ご利用 有 車椅子スペースご利用 有	
⑦ 託児のご希望(1歳から就学前までのお子さま。各日定員10名・先着順) お子さまのお名前 (歳 か月) 2日・3日 お子さまのお名前 (歳 か月) 2日・3日 (特記事項:)	
⑧ 交流会の参加(11月2日(日))(○をつけてください) ()参加する ()参加しない	

交流会について

交流会に参加をご希望の方は、当日会場において参加実費(5,000円)をご負担いただきます。詳細につきましては、参加希望の方に対し、後日送付する参加証に記載いたします。

宿泊について

宿泊先の斡旋は行っておりません。宿泊が必要な方は、各自お申し込みください。

個人情報について

氏名、住所等の個人情報は、本フォーラムの運営に関する以外の目的には利用しません。

9 お申し込み方法

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、「子どもの虐待防止推進全国フォーラム inしが」事務局に、FAX又は郵送にてお申し込みください。
なお、電子メールでの申込みは受け付けておりません。

10 託児のお申し込み

1歳から就学前までのお子さまをお預かりします。(定員：各日10名、先着順) 託児のご希望がある場合には、必ず事前に参加申込書に必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。
※保険証、着替え、おむつ等必要なものは、各自ご持参ください。

11 お申し込み締切

平成20年10月14日(火)【必着】

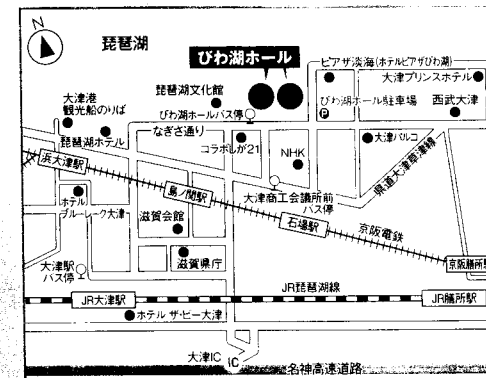
(締切日以降は、「子どもの虐待防止推進全国フォーラム inしが」事務局に、電話にてお問い合わせください。)

12 参加証の送付

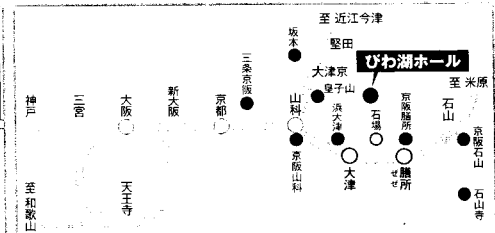
ご本人様宛に参加証(はがき)を送付いたします。当日は、この参加証を持参してお越しください。(会場の都合上、分科会を調整させていただく場合があります。) なお、10月24日(金)までに参加証が届かない場合には、事務局までお問い合わせください。

13 メイン会場へのアクセス

■アクセスマップ



■交通のご案内



びわ湖ホール 滋賀県大津市打出浜 15-1

- 大阪から新快速で39分、京都から新快速で9分
 - 名古屋から新幹線/京都のりかえで約60分
- ※びわ湖ホールの駐車場(有料)は、台数が限られておりますので、できるだけ電車・バス等の公共交通機関をご利用ください。

14 お申し込み先

参加申込書に必要事項をご記入の上、下記の事務局に郵送又はFAXでお申し込みください。

「子どもの虐待防止推進全国フォーラム inしが」事務局

〒520-8577
滋賀県大津市京町4丁目1番1号
滋賀県健康福祉部子ども・青少年局虐待・
非行防止対策チーム

TEL 077-528-3551

FAX 077-528-4854

15 本フォーラムに関するお問い合わせ先

厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室
電話 03-6253-1111(内線 7799、7800)